



決算説明会 -2009年3月期-

日本電産トーソク株式会社

(証券コード:7728)

<http://www.nidec-tosok.co.jp>

- 注意事項 -

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各製品の開発・生産能力、製品価格の急激な変化、顧客の購買方針変更、納入客先の生産計画、関係会社の業績、及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれるすべての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。

2009年4月27日



1. 08年度連結決算概要と決算のポイント

2. 09年度連結業績見通し

3. 今後の経営戦略・各事業戦略

08年度連結決算概要



(単位: 億円)

	07年度	08年度	前年比	09年度 通期見込
売上高	262.1	229.8	-12.3%	175.0
営業利益	21.7	13.2	-39.4%	10.0
営業利益率	8.3%	5.7%	-31.3%	5.7%
経常利益	22.0	11.8	-46.1%	9.0
当期利益	16.3	3.6	-78.1%	5.0
1株利益(円)	84.9円	18.6円	-78.1%	26.0円

決算のポイント



- 金融危機・世界的な景気悪化の中、
全四半期を通じて黒字確保

売上高: 229億 (12.3%減)
営業利益: 13億 (39.4%減)

下期の大幅落込みを全社的なコスト低減、
Q8のWPR™ 遂行によりインパクトを最小限に抑制

- 将来への積極的な**先行投資**
海外拠点の拡充・増産投資等

- 期末配当金 6.0円 (中間配当金 12.5円)
年間配当金 18.5円

1. 08年度連結決算概要と決算のポイント

2. 09年度連結業績見通し

3. 今後の経営戦略・各事業戦略

09年度連結業績見通し

通期利益率5.7%、下期8.3%まで回復

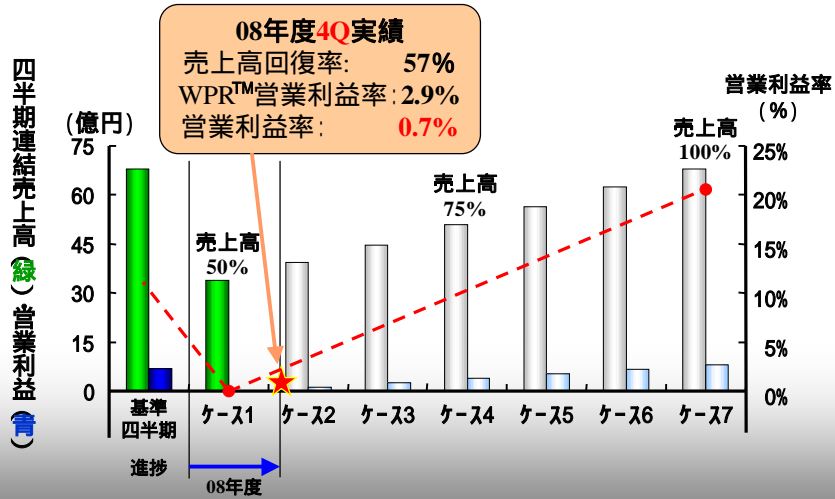
(単位: 億円)

	08年度	上期	下期	通期
売上高	229.8	75.0	100.0	175.0
営業利益	13.2	1.7	8.3	10.0
営業利益率	5.7%	2.3%	8.3%	5.7%
経常利益	11.8	0.5	8.5	9.0
当期利益	3.6	0.3	4.7	5.0

WPR™ 08年度4Q実績



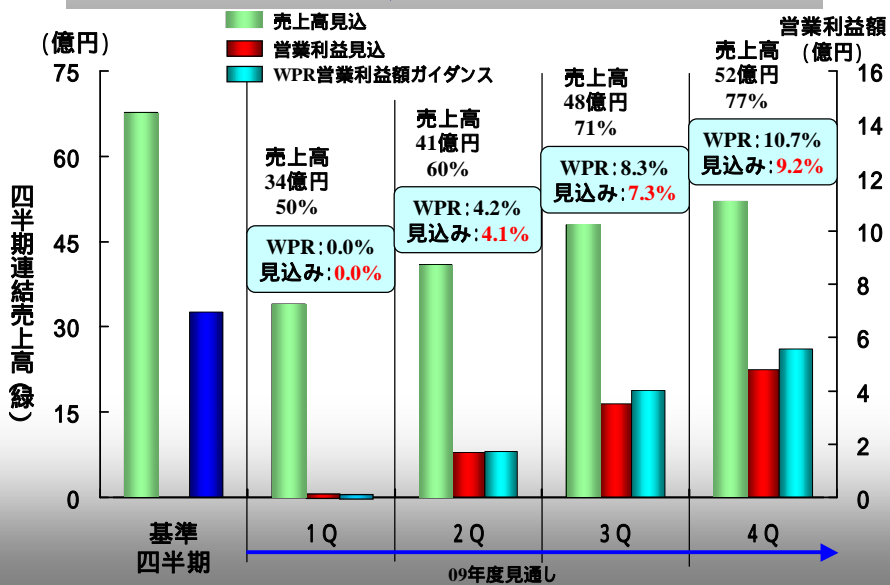
売上高がピークQ時ほぼ半減も、黒字を達成



WPR™: 09年度業績見込み



WPR™はまだ未達、09年度中に達成を目指す



売上・利益見通しの背景



当社製品群のマーケット拡大

- ◆小型車へのシフトがさらに進み、当社小型車向けAT/CVT用コントロールバルブ 受注増
- ◆新型CVT用コントロールバルブ2機種 販売増
- ◆設備・装置の需要は下期に一部回復見込み
- ◆LED、Power系半導体の市場拡大によるダイボンダ 需要増

新規マーケットへの拡販

- ◆中国・台湾・韓国・アセアン諸国等 海外への拡販
(タイ駐在事務所の開設)
- ◆年度後半の景気回復基調に伴う設備投資意欲の回復

コスト競争力の向上・・・海外拠点の拡充



1: 日本電産東測機器装置(浙江)有限公司の設立 (NTKC)

中国生産拠点の強化による徹底したコスト競争力の向上

● 浙江

2: 日本電産トーソク・秋葉ベトナム会社の設立 (NTAV)

精密アルミダイカスト部品のベトナムでの内製化による原価低減、
物流効率化による競争力向上

● バンコク

● ホーチミン

< 秋葉ダイカスト工業所 殿 との合併 >

3: タイ駐在拠点の設立 (2009年度予定)

自動車部品現地化の加速

1. 08年度連結決算概要と決算のポイント

2. 09年度連結業績見通し

3. 今後の経営戦略・各事業戦略

今後の経営戦略:重点方針

■ 利益率最重視の経営体制

- ・WPR™ 経営
- ・売上高より利益、利益よりキャッシュフロー

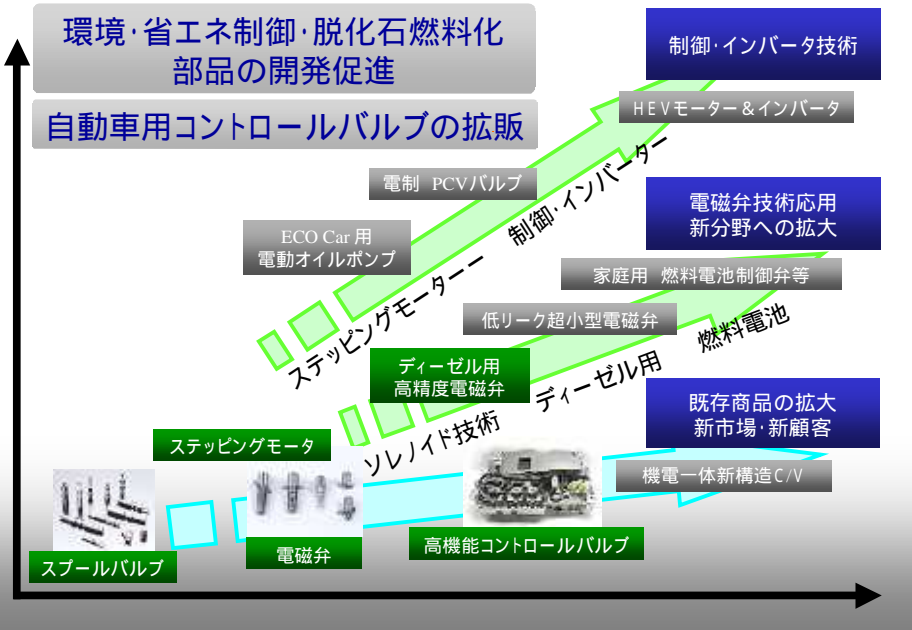
■ 事業構造の再編

- ・成長領域への資源(人、物)の重点化
- ・装置関連事業部の組織の簡素化&柔軟化
- ・グループ内連携の強化

■ 持続的成長の為の競争力強化

- ・海外拠点の設立によるコスト競争力と販売力強化
- ・省エネ、エコ、軽薄短小、ハーフプライス
エコカー(EV・HEV・FCV)、省エネ家電、新エネルギー
関連等新分野に向けた開発強化

自動車部品事業 - 戦略 -



新型CVT用コントロールバルブ



新型CVT用コントロールバルブを09年に2機種量産化

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 変速レスポンスの向上
圧力制御 流量制御 2. 新開発ソレノイド2機種を含む
オール内製化 3. 100%自社設計・開発 4. オイル消費流量削減 (低燃費に貢献) | <ul style="list-style-type: none"> 1. 内製新開発ソレノイド4機種採用 2. ソレノイドを含む内製化率向上 |
|---|--|

A社用

注) 配布資料からは秘匿の関係上
写真を割愛させていただきます。
ご了承ください。

計画 10,000台/月

B社用

注) 配布資料からは秘匿の関係上
写真を割愛させていただきます。
ご了承ください。

計画 40,000台/月

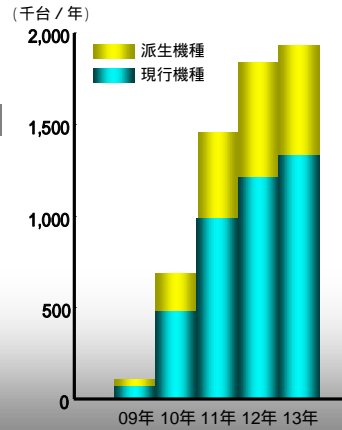
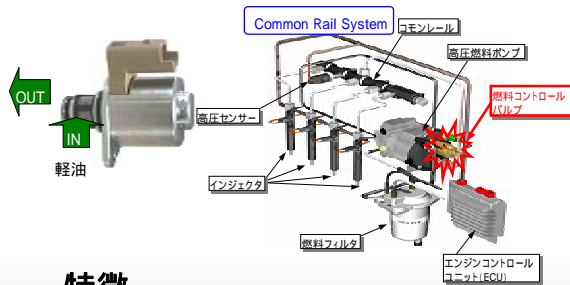
クリーンディーゼルエンジン用電磁弁



最新の排気規制Euro5対応の**流量制御弁**を生産開始(08年6月)

コモンレールシステムのインジェクタへ供給する
燃料の流量制御弁

バリエーション展開による
販売数量予測



特徴

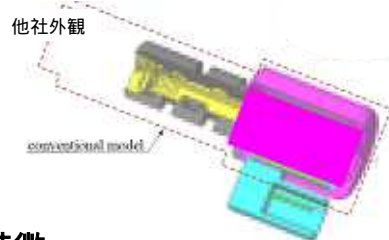
1. 超精密加工・組立による高精度流量制御と低リーク
2. 高信頼性シーム溶接による圧力密閉構造
3. 特性ヒステリシス低減 (磁気回路部品一体加工)
4. Euro5対応

自動車用超小型電磁弁



AT・CVT用比例電磁弁 (開発中)

環境・省エネニーズに対応した
超小型・軽量・低リーク比例電磁弁

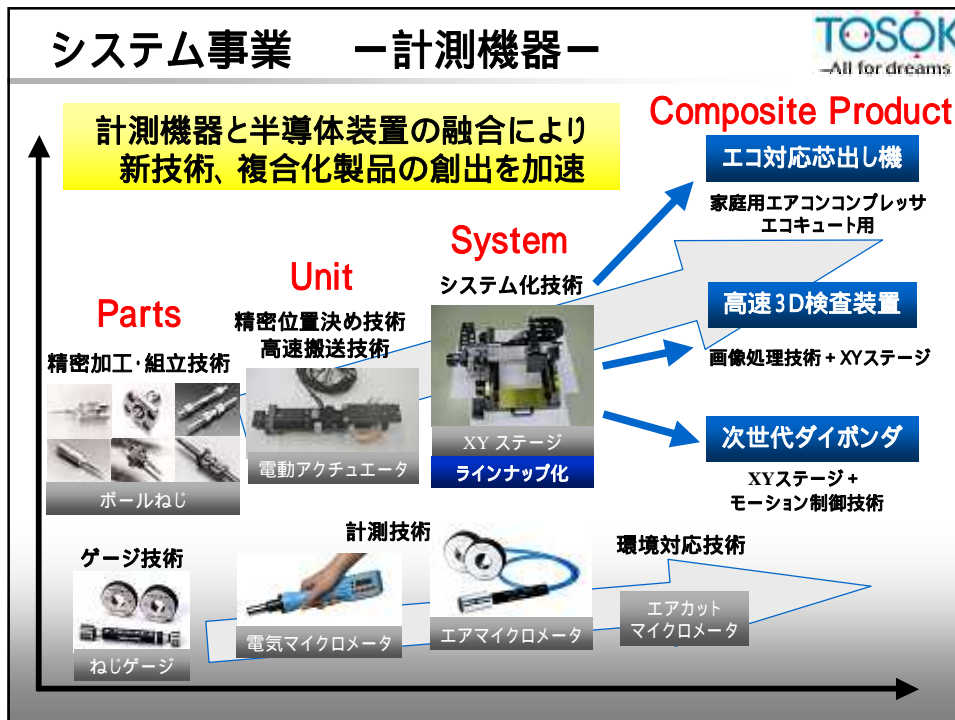


注) 配布資料からは秘
匿の関係上、写真を
割愛させていただきます。
ご了承ください。

プロト品

特徴

- 超小型: サイズ**50%ダウン**(他社体積比)
- 軽量: 質量**25%ダウン**(他社比)
- 低リーク: リーク**30%ダウン**(他社比)





お問合せ先
日本電産トーソク株式会社 経営企画部
<TEL>046-252-3102
<E-mail>information@nidec-tosok.co.jp
<http://www.nidec-tosok.co.jp>

WPR™

WPRは、2008年に日本電産㈱の永守重信が自身の独自経営手法に付した名称です。

WPR™は、日本電産㈱の日本国における商標です。

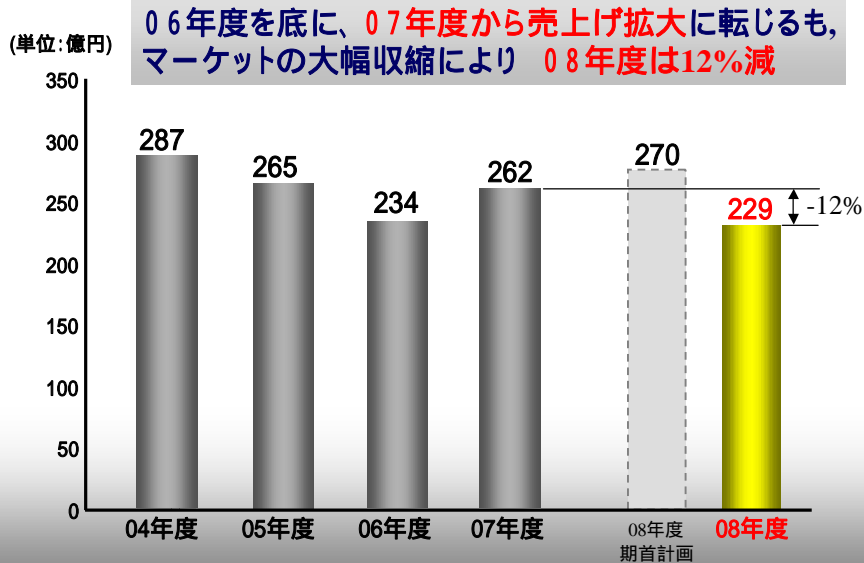
WPR© 日本電産㈱永守重信2008年。



補足資料

- 売上高推移
- 売上高推移(四半期別)
- 営業利益推移
- 営業利益推移(四半期別)
- 連結キャッシュフロー推移
- 借入金推移
- 設備投資・減価償却費・研究開発費

売上高推移



売上高推移 (四半期別)



金融危機による世界的な景気悪化によりQ3以降大きく
落込み、Q4の売上高は前年比約5割減

半導体製造装置

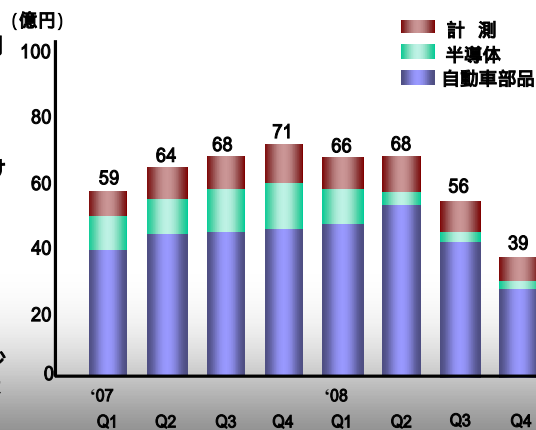
半導体業界不振、設備投資抑制
が直撃

自動車部品

自動車の販売不振の影響を受け
Q3以降大幅に減少
新商品の立上げ、小型車シフト
による小型車用CVTの増産で
下支え

計測機器

設備投資抑制の影響により減少
自動車生産、LEDなどの検査設
備が減少

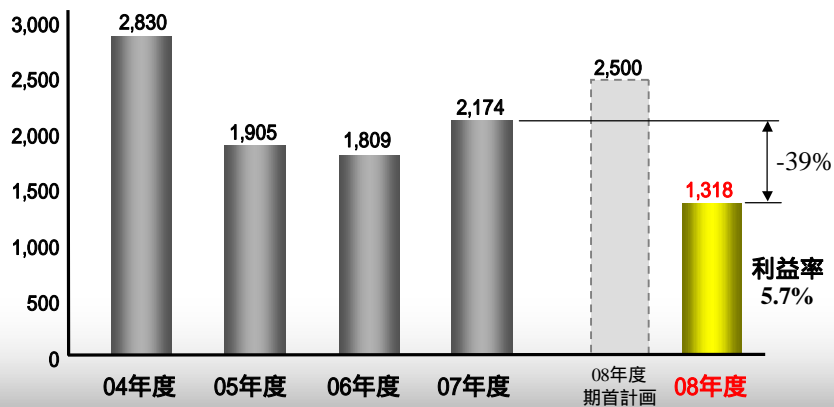


営業利益推移



06年度を底に、07年度から収益体質改善の中、
マーケットの大幅収縮により 08年度は39%減

(単位:百万円)



営業利益推移 (四半期別)



Q3以降の売上高の大幅減により利益は極小となったが、
全四半期を通じて黒字を確保

半導体製造装置

売上減少で苦戦

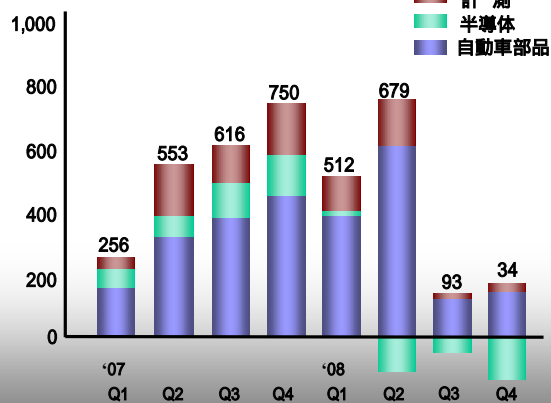
自動車部品

Q2までは好調
Q3以降は売上大幅減により
上期の3分の1に減少

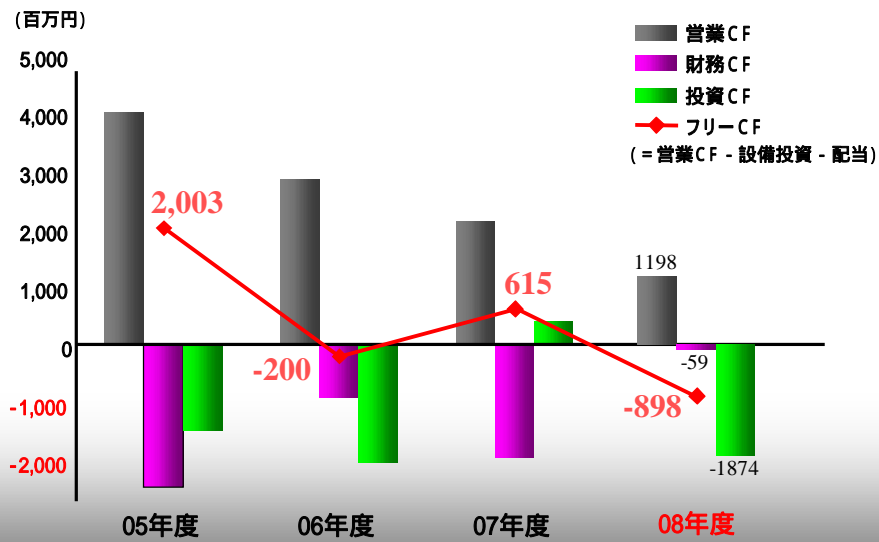
計測機器

中国生産移管による原価低を
図ったが、売り上げ減が響き
下期は大幅減

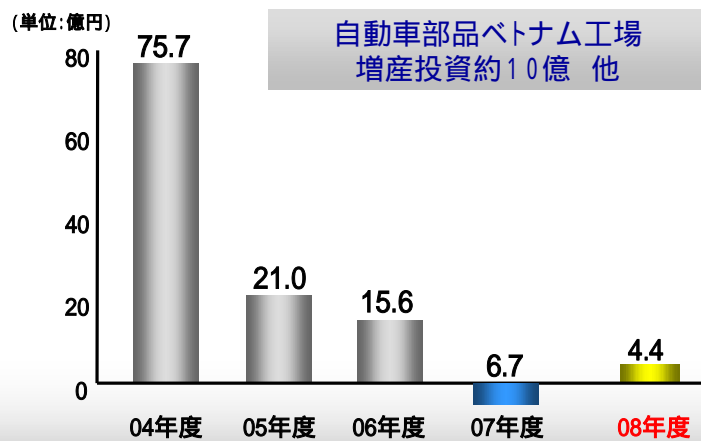
(百万円)



連結キャッシュフロー推移



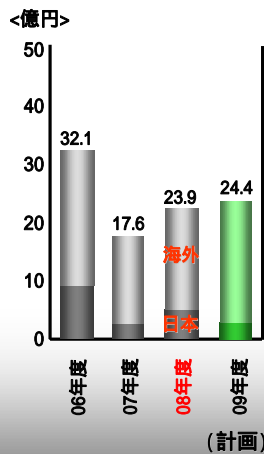
借入金推移



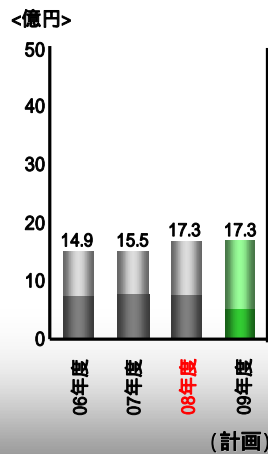
設備投資・減価償却費・研究開発費



設備投資額



減価償却費



研究開発費

